

# まごころ

## 1月号

### くにたち社協広報紙



編集発行：社会福祉法人 国立市社会福祉協議会  
〒186-8555 東京都国立市富士見台2-38-5  
くにたち福祉会館

042-575-3226 (代表)

URL : <https://www.kunitachi-csw.tokyo>  
e-mail : delegate@kunitachi-csw.tokyo



no.319

特集

“はじめの一歩”はごみ拾い  
～楽しみながら高める地域防災力～

- くにたち社協からのお知らせ P3  
福祉のしごと相談面接会 P3  
令和8年度 高齢者健康体操 参加者募集！ P3  
ボランティアセンター・CSWからのお知らせ P4

特集

“はじめの一歩”はごみ拾い  
～楽しみながら高める地域防災力～



[右] 左から坂本大河さん、小野友里江さん、篠原光一郎さん、小柳快仁さん  
[左上] 毎週木・土曜日に国立駅周辺で行っている「ごみ拾いパトロール」。時には意外なごみを拾うことも。ごみを通してまちの表情が見えてきます  
[左下] 地域を巡回する「防災カフェ」では、防災グッズ紹介や座談会、炊き出しを実施。綿あめ提供などの楽しみをきっかけに、防災に関わる人を増やそうと学生たちも企画しています



つづきはQRコードからどうぞ

今号の特集はいかがでしたか？ 本編をくにたち社協のホームページでお読みになれます。右記のQRコードを読み込んでご覧ください

[https://www.kunitachi-csw.tokyo/feature/022\\_tiiki-energy/](https://www.kunitachi-csw.tokyo/feature/022_tiiki-energy/)

篠原さんが防災に力を入れるようになったのは、地域の防災倉庫が遠く「もっと身近に備えが必要」と感じたことがきっかけ。そこで「中一番組自主防災」を立ち上げ、防災資材の管理や訓練を進めてきました。

一橋大学のサークル「国立あかるくらぶ」と協力して活動する「ちいきエナジー」では、地域のちょっととしたお困りごとを手伝い、その謝礼で防災用品を購入するなど、防災を軸にさまざま取り組みを行っています。

なかでもごみ拾いは、防災活動の大切な“はじめの一歩”。「小さなボランティア体験が、もしもの場面で行動力になる」と篠原さん。みんなで歩いてごみ拾いを行うことで、まちの見守りにもなっています。地域に助け合いの芽を育てることが、防災の力になると話してくれました。

一方で、独居のお年寄りの増加や、不登校の児童・生徒の裏側に潜む複雑な事情など、制度の狭間の中での新たな課題も見えてきます。

こうした状況に向き合うためには、公的制度だけでなく、人と人が互いに理解し、交わりあい支え合う地域に向けた取組が一層求められています。

本年も当会は、関係機関・団体の皆さんとの連携を深めつつ、市民の皆さんとともに、支援を必要とする方が安心して過ごせる地域社会を目指してまいります。

当会職員一同、市民の皆様の信頼にこたえられるよう努力を重ねてまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとりまして新しい一年が、希望に満ち、心豊かに過ごせる年となりますよう心から祈念して、新春のご挨拶といたします。



国立市社会福祉協議会  
会長 喜連 元昭

新年のご挨拶



あけましておめでとうございます。

旧年中は、地域の皆様をはじめ、民生・

児童委員、コミュニティの各協力団体、ボランティアグループなど、大変多くの方々に温かいご支援とご協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。

昨年は、急激な物価高にもかかわらず、皆様からのフードパートへの食品提供も絶えることなく、また、居場所づくりをはじめ様々な交流イベントなどの活動を通じて、子供から高齢者まで幅広い世代に





